

結 び



福岡県医師会 副会長
一宮 仁

結 び に

私たちは誰も経験したことのない未知の病原体による長期間にわたるパンデミックを克服しました。本記録誌では、福岡県医師会が地域医療を守るために取り組んできた対応をまとめました。

福岡県医師会は、新型コロナウイルス感染症の発生当初から福岡県ならびに政令市や保健所等の行政と協議を重ねて情報共有するとともに、感染拡大の初期からは郡市区医師会をはじめ医療関連団体との連携体制を築いて、病床の確保、宿泊療養施設の設置、発熱外来やPCR検査体制の整備、ワクチン接種の円滑な実施など、さまざまな局面で医師会としての責務を果たしました。

医療現場は長期間にわたり多大な制約と緊張を強いられ、会員の先生方をはじめとする医療従事者の皆様の献身的なご尽力なくして、これらの取り組みは成し得ませんでした。

一方で、新型コロナウイルス感染症は、医療提供体制の脆弱さや課題をあらためて浮き彫りにしました。ヒト（人材）、モノ（医療資源）、カネ（財政支援）、ハコ（施設・場所）、IT化と情報共有、迅速に対応できる指示命令系統などの平時からの備えと医師会・行政・大学・関係機関等との連携の重要性を再認識する契機ともなりました。今回の経験を活かし、今後の感染症対策や医療提供体制の強化に向けて、引き続き県民の皆様の健康と命を守るため取り組んでまいります。

本記録誌が、今後想定される新興感染症の発生という有事に備えるため、そして新たな地域医療構想の一助となることを願います。

結びにあたり、新型コロナウイルス感染症の発生当初から体制整備の陣頭指揮を取られたものの、終息を見届けることなくご逝去された故松田峻一良前福岡県医師会会長に心から敬意と感謝を表し、ご霊前にこの記録誌をお届けいたします。

令和7年3月

福岡県医師会
新型コロナウイルス感染症 記録誌

令和7年3月

発 行 公益社団法人福岡県医師会
〒812-8551 福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目9-30
TEL : 092-431-4564